

## 事業報告書 (令和 2 年度)

事業名 岡山いいとこ！おいでんせえカフェ

団体名 一般社団法人おいでんせえ岡山

担当者名 逢澤直子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

- ・日時：毎月第2回第4回日曜日12時から16時まで開催
- ・場所：岡山市北区辰巳くらしのたね
- ・コロナ渦中での参加人数を15名に制限（毎回予約をとり、毎回キャンセル待ち）
- ・内容：

移住および下見に来られた方、岡山の地元の様々な分野の団体、個人、企業、子育てママパパとの交流。

健康セミナーや生産者の生產品の話など、各分野の専門家の話を聞く場所を築き、地域の取り組みを分かち合う、対話・交流。

岡山の良さをいろいろな角度からPRし、興味を持っていただく。

地域の特色を活かした生產品などを考えたり、交流がきっかけとして防災への認識を持つていただく。

地域の、また移住者の生產品を並べる。



6月~7月親子配布でマスクの提供もあり。

(様式第8号)



8月

遊び場を制限された子供たちも大喜び。助産師さんと。



4月5月はオンラインで開催。



9月にはピアノを弾いてもらう。

(様式第8号)



一人親の小学生もお母さんと。



地域の会社員さんもお昼休憩に。



10月生産者のオーガニック野菜が並ぶ。この月の申し込みが一番多かった。



11月のランチ（ビバーク）とスイーツ（パイボン畑）。





12月のクリスマス会は親子でペタペタ。家ではできないことなのでみんな大喜び。



1月のお正月初笑い。



2月は新規の方3組がみんな1歳未満の赤ちゃん連れ。

## 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

ESDの視点を取り入れたところ

- ② 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- ③ あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

- ④すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
- ⑪包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- ⑫持続可能な生産消費形態を確保する。

ESDの視点で見直したところ

- ⑯持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- ➡コロナ渦中での子供に対する虐待などの暴力を撲滅する。

### 3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・食への意識、消費者意識が目覚めた。
- ・移住および下見の方には、地域の取り組みを理解していくことで、双方の連携で地域の特性が生まれ、生産が生まれ、孤立化及び転出者を防ぎ、子供たちの次世代につながる。
- ・生産者が環境配慮を考慮して生産することで、消費者の健康の維持と持続可能な次世代へとつながる。
- ・実際に生産者、生產品を紹介することで農を体験してもらったり、交流も生まれ、意欲的になった。
- ・対話を続けながら、ニーズを聞き取り、安心感を与えられる場所の確保で孤立感を防ぎ一歩前へと生きる力となった。特にコロナ渦中での。
- ・移住者には、心の内をさらけ出せる場所の確保で安全安心を感じていただき、一歩前へとすすめられた。
- ・持続可能な社会づくりとして自分の居場所を見つけ、地域貢献の場所として視点を変えたり、見方の変化を見られることが良かった。
- ・生産者が環境配慮を考慮して生産することで、消費者の健康の維持となり、地元をはじめとして、多くの方に知っていただき、生産者の自信を回復し、事業としてより取り組み生産者の励みにもなった。
- ・食育、農業、仕事、健康、教育、法律などの専門分野での講師を招き、話をしてもらうことで、学ぶ機会となった。
- ・顔の見える生産者の紹介や販売、食の提供により、安心安全な場が作れた。
- ・ネットでのライブ配信を行うことで岡山県外の方にも広がった。

### 4. 今後の課題と展望

コロナ渦中という背景が思いのほか深刻で、生活・健康への不安が多く、新生児を連れてきたお母さんの参加が多かったことで、地域の中の一員としての気づきや、地域に貢献していきたいこと、発信したいことまでいきつかなかった。

コミュニティとして参加者のつながりと、連携団体の繋がりが広がったので、来年度からより場所を広げていき、コミュニティがおのずと防災への認識を持っていただきたい。